

座席番号	
受験番号	
氏名	

合計得点	
------	--

二〇一三年度 普連土学園中学校入学試験

二〇一三年二月一日実施

国語 一次 解答用紙 一

問題一

問一 イ

問二 一つの価値観が別の価値観を打ち負かし、否定してしまう

もの

問三 分かってももらえないことを、それでも分かってもらおうと

するためのもので  
あるといっている。

問四 単語だけに育ったこと

問五 少子化が進んで兄弟が少なくなり、子供が育つ環境の中で競争相手が減って、激しい自己主張をしなくても自分の要求が通るため、言葉を尽くす必要がなくなったから。

問六 表現への欲求

問七 価値観が多様化し、異なる価値観を持った人間同士が交流する場

問八 エ

問九 オ

問題二

問一 イ

イ

問二 若者達が万引きをしなくて帰ったから。

問三 井脇は万引き犯を捕まえたいのだとばかり思っていたので、実は彼らに万引きをしないで欲しいと願っていたことが、意外だったから。

問四 母親が娘に万引きをさせようとしたことを非難しようとしたのに、それを止められたから。

問五 ア  
エには部分点があります。

座席番号	
受験番号	
氏名	
合計得点	

二〇一三年度 普連土学園中学校入学試験

二〇一三年二月一日実施

国語 一次 解答用紙 二

問六 万引きした中学生達を捕まえないと

今日  
の  
母  
親  
み  
た  
い  
な  
親  
に  
な  
っ  
ち  
ま  
う  
と  
考  
え  
た  
か  
ら  
。

問七

万引きをしたのだから、どれ程の罰が与えられるかと思ったら、店を手伝うという、およそ罰とは思われないようなことを求められたから。

問八

握りしめたバイト代に、軽い気持ちで行っていた万引きが思いもしなかった程の迷惑をかけていたという罪の意識を感じたから。

問九

エ  
イには部分点があります。

問題三

寒暖

公衆

提案

紅潮

努

ぐんじょう

こ

きじ

ふる

おこ

問題四

イ

ウ

オ

エ

カ

問題五

一  
朝  
一  
夕

一  
期  
一  
会

一  
日  
千  
秋

二  
束  
三  
文

再  
三  
再  
四

四  
角  
四  
面

五  
分  
五  
分

七  
転  
八  
起

百  
発  
百  
中

千  
差  
万  
別

